



# 国立大学リスクマネジメント情報

2018(平成30)年9月号

<http://www.janu-s.co.jp/>

## 特集テーマ

### 国大協保険の保険金支払概況（3）

国立大学法人総合損害保険（国大協保険）は、平成16年度のスタートから昨年度で14年が経過しました。平成27年8月号で平成27年3月までのデータを基に保険金支払の概況をお知らせしましたが、本号では平成30年3月までの最新データを基に分析してみます。

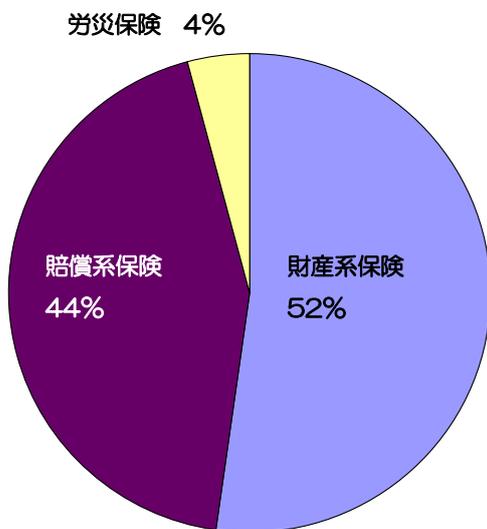
#### 1. 保険種別による保険金支払状況

国大協保険は、メニュー1：財産系保険・賠償系保険・労災系保険、メニュー2：保健管理センターの賠償責任保険、メニュー3：従業員の傷害保険、メニュー4：ヨット・モーターボート総合保険の4つのメニューから構成されています。

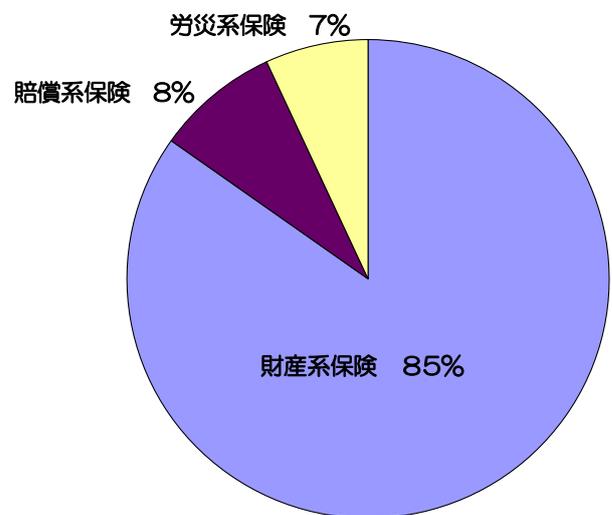
そのうち、メニュー1が大学全体のリスクを大きくカバーしている基本の保険で、全ての国立大学法人・大学共同利用機関法人が加入しています。ただし、地震・噴火・津波といった天災については、国の災害復旧費の対象となるため国大協保険の補償対象としていません。

平成16年4月から平成30年3月までの14年間のメニュー1の保険金の支払件数と支払金額を財産系保険、賠償系保険、労災系保険の種別で見ると以下のとおりとなります。支払件数では財産系保険と賠償系保険の件数はほぼ半々ですが、支払金額ではそのほとんどが火災、風災、水濡れによる財産系保険の支払いです。

保険金支払件数



保険金支払金額





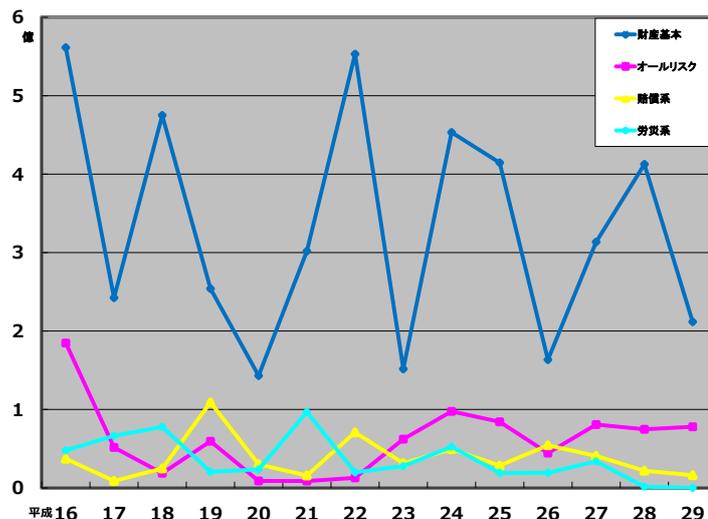
## 2. 年度ごとの保険金支払状況

下のグラフは、各年度ごとの国大協保険メニュー1の保険金支払金額です。

「財産基本」(青色)が火災、風災、雪災、爆発を補償する財産保険(基本補償)、「オールリスク」(ピンク色)が水災、水濡れ、盗難等を補償するオールリスク特約、「賠償系特約」(黄色)が大学等の業務や施設管理上の事故による第三者の損害を賠償する賠償系の特約、「労災系特約」(水色)が政府労災の上乗せ補償である法定外補償に該当する特約です。

「財産基本」が大きく乱高下しているのは、台風の被害、火災事故(それに伴う高額な設備の被害)によるものです。

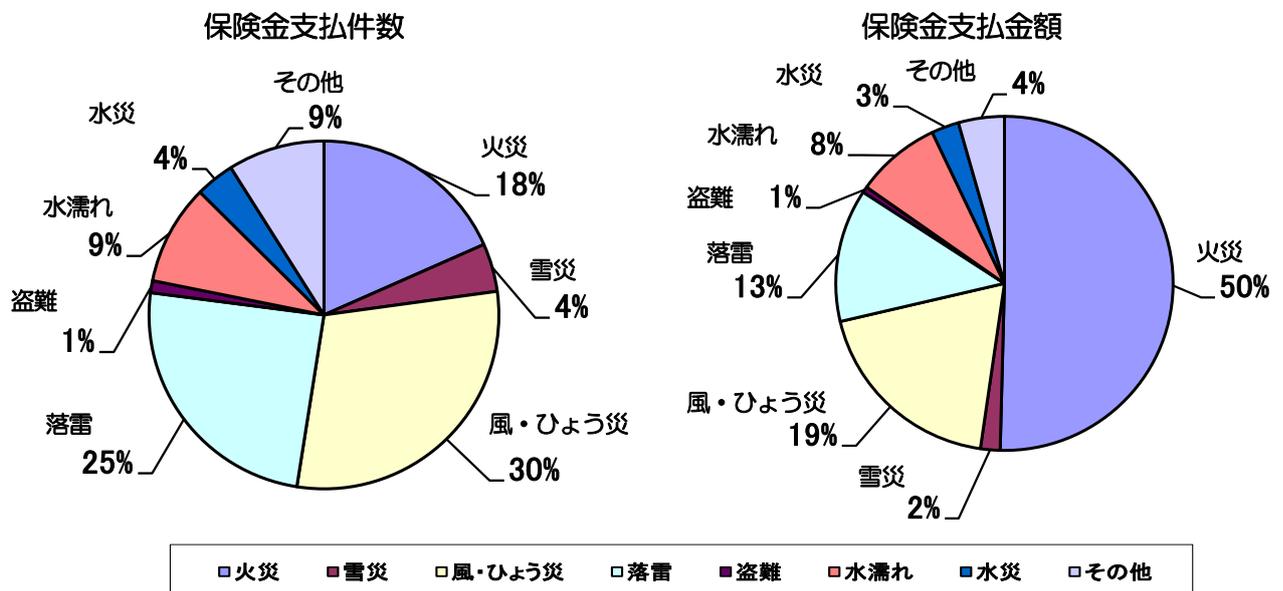
<各年度毎 国大協保険メニュー1 保険金支払額 >



異常気象による甚大な災害が今後も多発すれば、制度の安定的な運営が難しくなることが心配されます。

## 3. 財産系事故の保険金支払状況

財産保険(基本補償)とオールリスク特約の内訳を見ると、保険金支払件数では、「風災・ひょう災」30%、「落雷」25%、「火災」18%の順ですが、保険金支払金額では、「火災」が50%と半分を占めています。





### 4. 財産系事故の支払例

#### 1) 火災

年度	事故内容	保険金支払額
24年度	燃焼実験中に薬品に引火。学生負傷。	327,132 千円
22年度	実験室から出火。学生負傷。	196,918 千円
28年度	実験室内、研究機器のコード周りから出火。	184,556 千円
19年度	作業ハウスから出火。脱穀調整場、牛舎が全焼。	163,065 千円
28年度	大学院生実験室より出火。	123,556 千円

高額な実験機器が煙、煤、消火剤等により被害を受け損害が大きくなっています。

#### 2) 水濡れ

年度	事故内容	保険金支払額
16年度	病院3階の配管が破裂。漏水し階下のCT等機器被害。	109,652 千円
16年度	上記による休診の収入補償。	2,758 千円
24年度	研究棟3階より水濡れし、階下の研究機器が損傷。	29,940 千円

水濡れの場合も、下階にあった高額の機器が被害を受け損害を大きくしています。

#### 3) 台風、雷

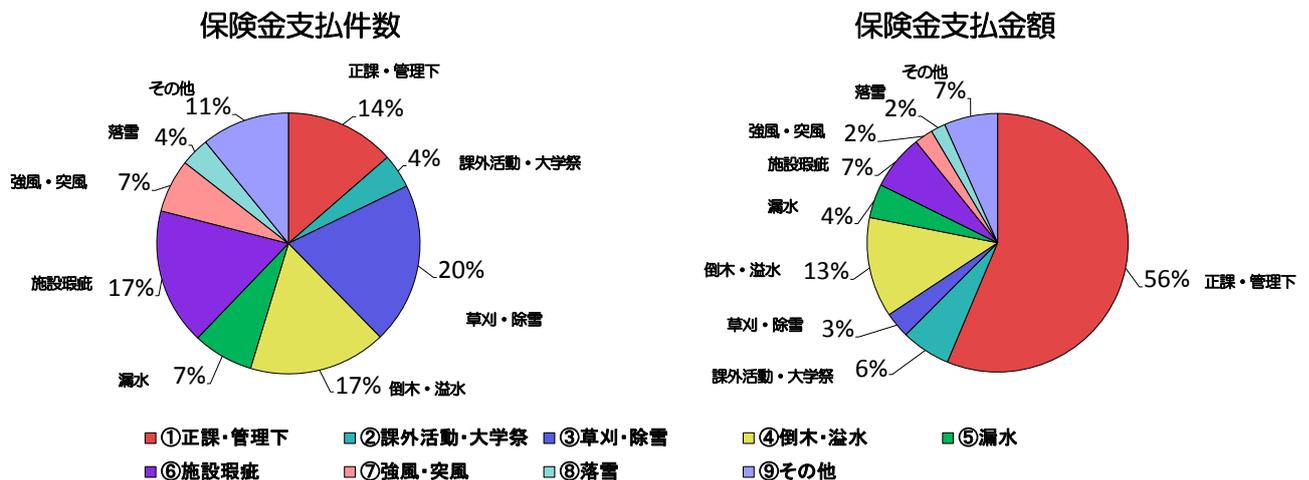
年度	概要	保険金支払金額
16年度	台風18号による大学構内建物等の被害。	52,728 千円
23年度	台風6号により講堂屋上防水、野球場破損。	32,136 千円
18年度	台風13号による大学構内建物等の被害。	28,961 千円

年度	概要	保険金支払金額
21年度	落雷原因により研究所の変電所変圧器が故障。	59,006 千円
22年度	落雷により防災監視盤・警備装置・電話回線機が破損	57,711 千円
26年度	落雷により実験装置ならびに自動火災報知設備が破損。	34,276 千円

### 5. 賠償系事故の保険金支払状況

賠償系の保険を代表するメニュー1 総合賠償責任保険の保険金支払事故原因を見ると、件数では、草刈・除雪によるケガや車両毀損、倒木や枝折れによるケガや車両毀損、豪雨による水のあふれ出による隣接施設の損壊、寮や宿舍の配管からの漏水による入居者財産の損害、強風・突風、落雪による損害、側溝のふたや入構ゲートが壊れている等の施設瑕疵による事故が多く起こっています。

しかし、保険金支払金額を見ると、圧倒的に正課中や大学管理下での事故が高額の支払いとなっています。





## 6. 賠償系事故の支払例

### 1) 正課・管理下

年度	事故内容	保険金支払額
19年度	正課活動での登山中で学生が落石の直撃をうけ死亡。	66,838千円
22年度	実験中爆発により、学生が負傷。	32,859千円
19年度	学生が実習中に粉砕機に手を巻き込まれる。	25,114千円

### 2) 課外活動・大学祭

年度	事故内容	保険金支払額
20年度	陸上部員が部活中、トレッドミルで転倒し怪我。	4,400千円
20年度	学園祭のクレープを作りおきたために食中毒が発生。	3,877千円
23年度	学園祭において、落馬事故発生。	2,804千円

### 3) 草刈・除雪

年度	事故内容	保険金支払額
29年度	用務員が草刈り機で草刈り中、駐車してあった車に小石を飛ばし傷。	1,325千円
29年度	用務員が草刈中、小石がはねて教職員の車に傷。	600千円
29年度	手押しの除雪車で駐車場を除雪中、飛び石により駐車中の車の窓ガラス破損。	232千円

### 4) 倒木・溢水

年度	事故内容	保険金支払額
22年度	大雨により排水枡があふれ、斜面下にある民間施設が水漏れ被害。	11,905千円
24年度	強風により構内の樹木が倒れ、駐車していた車輛を破損	3,117千円
19年度	強風により、立ち木が倒れ民家を損傷。	2,368千円

### 5) 漏水

年度	事故内容	保険金支払額
28年度	屋上空調設備より水が噴出。駐車車両を汚損。	1,460千円
25年度	職員宿舎の給水管が破損して漏水し、居住者の家財を汚損。	918千円



## 6) 施設瑕疵

年度	事故内容	保険金支払額
16年度	大学構内の門扉（鋼鉄製）が倒れ、警備員が下敷きになり負傷。	8,272千円
16年度	大学の展覧会会場にて、私大教授らが段差にはまりケガ。	1,639千円
16年度	展示会掃除のため、側溝のふたを開けていたところ来訪者が落ちケガをした。左足のすねを2針縫うケガ。	1,317千円

## 7) 強風・突風

年度	事故内容	保険金支払額
23年度	台風により車両等が破損。	1,393千円
18年度	強風により排水通気管破損。駐車車両2台破損。	890千円
28年度	強風でネットが煽られて教員の車両にあたり損傷。	859千円

## 8) 落雪

年度	事故内容	保険金支払額
24年度	屋根雪が落下し、駐車車両6台を破損。	1,869千円
27年度	植木より落雪し、来客車両を破損。	771千円
25年度	連絡橋からの落雪により走行車両が破損。	643千円

## 9) その他

年度	事故内容	保険金支払額
24年度	農場の牛が逃げ出し、近所の車と衝突。	207千円
25年度	出張中の教員が駅構内を歩行中通行人と接触、けが。	29千円

台風・豪雨による倒木、土砂や泥水の流出等の自然災害で損害を与えた場合、一般的には不可抗力として賠償責任が発生しませんが、施設の管理に瑕疵があった場合には賠償責任が発生します。

## 7. 国際交流活動対応費用補償特約

国際交流活動対応費用補償特約は、海外からの受入留学生や受入研究者、大学の派遣プログラムによる派遣学生の事故や病気、遭難に対し、大学が対応を余儀なくされた場合の費用について補償するものです。国大協保険の各種特約の中で最も遅く平成23年度に追加されました。

近年、国際交流活動は活発化しており、保険金支払が増加しています。

年度	事故内容	保険金支払額
26年度	受入留学生が下宿先で、救急搬送。緊急対応が必要なため、母国からの親族呼び寄せ費用発生。	592千円
27年度	海外研修を予定していたが爆弾テロにより研修を中止。キャンセル費用発生。	500千円
29年度	留学生が不調により入院治療。教員を現地に派遣。緊急対応が必要なため両親呼び寄せ費用発生。	185千円



## 8. 労災系事故の保険金支払状況

国大協保険の労災系の保険は、政府労災の上乗せ補償として大学が行う法定外補償で払われる補償金を保険でお支払するメニュー1 労働災害総合保険が主なものです。

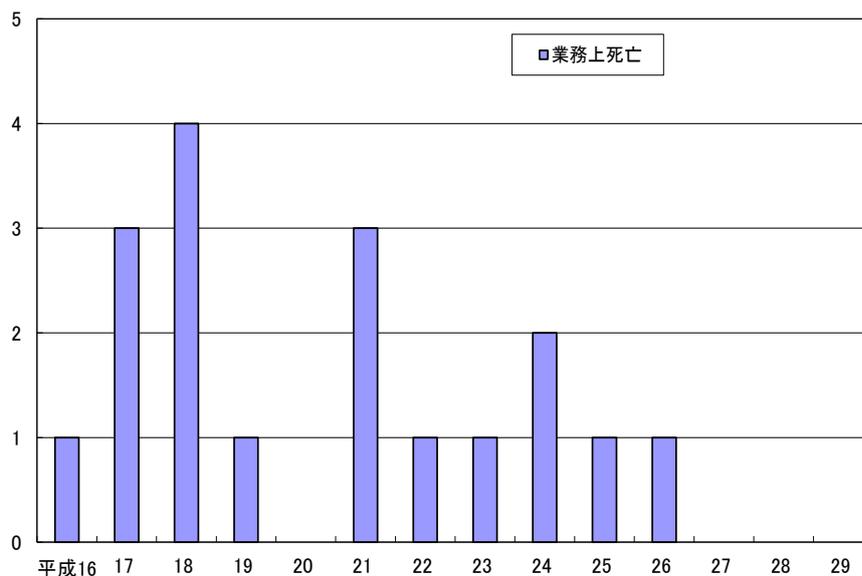
平成16年4月から平成29年3月までの保険金支払総額は、賠償系特約の支払総額とほぼ同額で、多い年度では4件の死亡災害が発生しています。労災の認定に時間がかかるため、本労働災害総合保険の保険金の支払は災害発生年度からかなり遅れて行われることが多く、件数が0の年度についてもこれから支払われる可能性があります。

死亡原因としては、自殺や過労によると思われる疾患が含まれており、野外や海外での研究・調査中の事故もあります。

また、政府労災及びメニュー1 労働災害総合保険でお支払いした保険金額を超えて損害賠償責任を負担する場合、その超過額を補償する使用者賠償責任補償特約では、1件当たり数千円に上る保険金支払が発生しています。

大学として教職員の心身の健康状態の把握と健康管理・指導が大切であるといえます。

< 業務上死亡による年度毎の保険金支払件数 >



H30. 8 月

大学リスクマネジメント News PickUp

### <大学の管理・経営>

<Web上のニュースから検索>

- 8. 14 ○帝国大学の教授が、1930年代、旧満州で日本軍に捕らえられた中国人から摘出した辜丸を使い染色体を観察する実験を行っていたことが報道。
- 8. 17 ○大学は、昨春新設した図書館が小さいため、旧館からの全ての蔵書を引き継げないとして約3万8千冊に及ぶ図書や雑誌を焼却処分し、その中には貴重な郷土本や絶版本が含まれていたことが報道。その後、大学が謝罪コメントと処分理由についてHPで公表。
- 8. 22 文科省科学技術・政策研究所は、基礎研究を担う大学に行き渡る研究費が2016年にドイツに抜かれ、初めて世界4番目に落ちたことを公表。



<事件・事故>

- 8. 1 ○大学病院で前立腺がんの特殊な放射能治療をめぐり、担当医師が未経験であったにもかかわらず説明がなく精神的苦痛を受けたとして患者4人が担当医師を提訴。
- 8. 3 ○大学病院の入院患者15人から多剤耐性アシネトバクター菌等が検出され、うち8人が死亡。集中治療室を中心とした院内感染の疑い。
- 8. 18 ○大学の学生時、試薬を廃棄中に発生した有毒ガスを吸い肺気腫などを発症したとして、同大病院の医師が同大の指導教員だった准教授と大学を相手取り、計約3億円の損害賠償を求める訴訟を提起。また、同教員からのパワハラを受けたとして550万円の損害賠償を求める別の訴訟も提起。
- 8. 26 自転車旅行中の大学生3人がひき逃げに遭っていてその内の1人が死亡。
- 8. 27 昨年、スマートフォンを操作しながら電動自転車を運転し、歩行者にぶつかって死亡させた学生に対し、地裁は禁固2年、執行猶予4年の判決。

<入試等ミス>

- 8. 28 ○大学は、今年3月に実施した一般入試(後期日程)の物理に出題ミスがあり、3人を追加合格、4人を上位の志望学科へ変更。7人のうち2人は他大学に、1人は別学科に進学し、残りの4人は浪人して予備校等に通っており、10月以降の入学や転学科を認め慰謝料を支払う方針。大学は作成時に7回チェックしていたがミスに気づかず、出版社から指摘をうけて初めてミスが判明。

<情報セキュリティ>

- 8. 3 ○大学は、同大教員が出張先のスペインで盗難に遭い、学生15名、業務に関してやり取りした送受信メールに含まれる55名等の個人情報記録された私物のパソコンを紛失したと発表。
- 8. 22 ○大学が管理するメールサーバーに何者かが不正アクセスし、大学図書館の蔵書焼却問題や課長の酒気帯び運転などに関する内部情報が同大の教職員228人にメールで一斉送信されていたことが判明。

<ハラスメント>

- 8. 4 ○大学は、女子学生2人に対して、飲食に誘い抱きついたり、卑猥な発言を繰り返し、「極めて悪質なセクシュアル・ハラスメント行為」を行ったとして、同大准教授を懲戒免職処分。大学HPでは実名を公表。
- 8. 9 ○大学チアリーディング部の女子部員が女性監督から暴言等のパワハラを受けたとする声明を、代理人弁護士を通じて公表。
- 8. 17 ○大学は、教授が同じ学部の非常勤講師の女性に対し仕事でのトラブルを理由に、女性の性格や知性などを否定する内容のメールを送るなどのパワハラがあったとして、同教授を戒告の懲戒処分。

<学生・教職員の不祥事>

- 8. 1 ○大学は、出張旅費や金券などの不適切な処理で計約1,300万円相当を着服したとして同大事務職員を諭旨退職処分。処分は昨年12月31日付だが、その後も新たな着服が発覚したため公表に時間がかかったと説明。
- 8. 20 高い殺傷能力を持つ高性能爆薬「過酸化アセトン」などを製造・所持したとして○大学の学生が逮捕。この自宅から3Dプリンターと拳銃のようなものを押収し、銃刀法違反容疑で再逮捕。
- 8. 21 ○大学の助教が、盗撮目的で女性のスカート内に携帯電話を差し入れたとして、県惑行防止条例違反の疑いで現行犯逮捕。
- 8. 25 ○大学の職員が、女子高校生のスカート内を小型カメラで撮影したとして、県惑行防止条例違反の疑いで現行犯逮捕。
- 8. 20 高い殺傷能力を持つ高性能爆薬「過酸化アセトン」などを製造・所持したとして逮捕された○大学の学生の自宅から3Dプリンターと拳銃のようなものを押収し、銃刀法違反容疑で再逮捕。

配信について

本誌は、各国立大学・大学共同利用機関の国大協保険ご担当者、国大協連絡登録先、ご登録いただいた方にメールで配信させていただきます。(無料) 配信登録、解除は弊社ホームページからお願いします。⇒ <http://www.janu-s.co.jp/>

情報提供のお願い

各大学等でのリスクマネジメントに関する取組み、事故・事件への対応のご経験、ご感想、ご要望等をお寄せください。⇒ [info@janu-s.co.jp](mailto:info@janu-s.co.jp)

バックナンバー

- 18. 8月 平成30年7月豪雨
  - 18. 7月 大阪府北部の地震と保険適用
  - 18. 6月 受入留学生の事故と保険のFAQ
  - 18. 5月 海外渡航中の事故と保険のFAQ
  - 18. 4月 臨床研究保険の改定
  - 18. 3月 臨床研究法
  - 18. 2月 障害者雇用促進法の改正
  - 18. 1月 労災特約の支払限度額パターン
- ※弊社ホームページからダウンロードできます。

発行 有限会社 国大協サービス 協力 三井住友海上火災保険株式会社  
東京都千代田区神田錦町3-23